

令和元年度 当別町子ども発達支援センター保護者評価の結果について

お忙しい中、保護者の皆様には、アンケートのご協力ありがとうございました。次年度のセンターの指導等の充実に向けての方向性をお知らせいたします。

【評価対象事業】

- ・ 児童発達支援事業

【調査機関】

- ・ 令和元年12月4日～令和2年1月15日

【調査対象者】

- ・ 当別町子ども発達支援センター利用保護者

【回答率】

- ・ 配布数：22世帯、回収数：19世帯 回収率86%
- ・ 高い回収率に感謝申し上げます。回答を分析し次年度の改善に反映してまいります。

【評価】

- ・ センターの環境・体制整備、適切な支援の提供、保護者の相談に対する支援や満足度では概ね高い評価をいただいております。
- ・ 保育所や認定こども園等との交流を行い、障がいのない子どもと活動する機会があるかにつきましては、「どちらともいえない」「行っていない」という回答が多いのですが、幼稚園、家庭では障がいのあるなしに関わらず、一緒に活動したり遊んでいるという意見がありました。
- ・ 昨年度、保護者同士の連携支援で、保護者同士が話せる時間を増やして欲しいというご意見があり、今年度は、交流会の回数を増やし、周知時には周知漏れがないようにチェックするなど努め、支援されていないという回答はなかったのですが、どちらともいえないの回答があり、「参加できなかった」という意見がありました。
- ・ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか、また発生を想定した訓練が実施されているかにつきましては、「どちらともいえない」「いいえ」という回答があり、意見の中には「参加していない」「個人的に話を聞いてみたい」とありました。

【課題】

- ・ 高い評価を受けている項目は、現状に満足することなく、さらなる向上に努めることが必要。
- ・ 保護者同士の連携支援は、「支援がない」と答えた方はいらっしゃらなかったのですが、「参加していない」ということで「どちらともいえない」と答えたのではないかと予想されるため、項目の内容の検討が必要。
- ・ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等を掲示、周知し、訓

練も実施し、訓練の様子を写真等で掲示していますが、浸透していないように感じました。

【今後に向けて】

- ・高い評価を受けている項目に関しては、今後も維持向上に努めます。また、職員全体の技術向上の為、次年度は、指導員は北海道通園センター連絡協議会主催の発達についての研修を2回、臨床発達心理士及び北海道立子ども総合医療・療育センターの医師等による専門的な技術支援等を8回、感染症や虐待、相談支援に関する研修等各1回以上、随時研修会、学習会の案内があれば参加する予定です。
- ・保護者同士の連携支援は、就園前、就園児、年長児に分けて1回ずつ、全員対象の交流会を2回以上実施する予定です。
- ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアル等の周知につきましては、現在の掲示方法のほか、保護者交流会や個別の懇談、個別指導時等で説明させていただきます。また、訓練等が実施されているかの質問に対し、「参加していません」というご意見がありましたので、今年度参加していないグループは次年度参加できるように計画し、保護者を対象とした救命救急、子どもの誤飲やケガの応急処置等の訓練を予定しています。